

古川町に保育所

お年玉ハガキで生まる

今年も十月一日から「国民たすけあい共同募金運動」が始まりました。長岡市は皆さんの御協力により、年毎によい成績を上げて、昨年は目標額の百五万円に達することができましたが、今年も百四十四万円(新市域を含む)であります。赤い羽根で町を明るく美しく、みんなそろって幸に「をモットーにして、一段と御協力を願っています。

市内には、共同募金やお年玉はがきの配分金で、婦人生活相談所(荒屋敷町)や福祉会館(西新町)ができた。私立保育所の増設、児童遊園地の充実、歳末援護などに使われていきます。

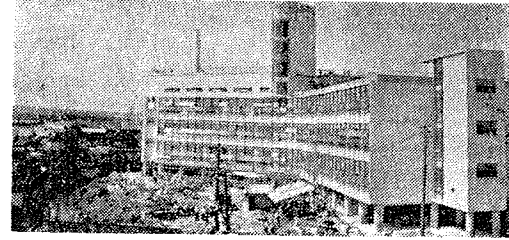
古川町に始った保育所の新築工事



秋の大掃除

ネズミ退治に布団ほし

- 1 秋晴れのよい季節になりましたので、左記の日割で大掃除を願います。軒先から御協力下さい。
 - 2 御参考までに、二、三のことを申し上げます。
 - 3 掃除の内外を掃除して、床の上下に殺虫剤をまいて下さい。
 - 4 台所は特に念入りに掃除し、ネズミの巣をとる。
 - 5 便所の汲取口は、ハエの入れないように蓋をする。
 - 6 布団ほし、畳ほしをよくくまらして下さい。
- 大掃除日割表
十月二十日 千手、表町、中島学区
十月二十一日 四郎丸、川



17日から新庁舎

水道局は中島浄水場

柳原町に新築中の市役所の新庁舎が、ようやくでき上りましたので、来る十七日から新しい庁舎で業務を始めることになりました。

なお、水道課は水道局と改めて、中島町。水道浄水場へ移ります。水道については、中島の水道局方面へ御連絡下さい。

市役所代表電話 三〇〇番
水道局電話 一七番

- 十月二十二日 飯之上、神田、新町学区
 - 十月二十三日 大島、深才、日越学区
 - 十月二十四日 上川西、福戸、玉寺川地区
 - 十月二十五日 下川西、黒条、新組地区
 - 十月二十六日 山本、富倉、魚、栖吉地区
 - 十月二十七日 宮内、十日町、六日市地区
- (都合により決つた日に実施して下さい)

できない時は、他の日に実施して下さい。

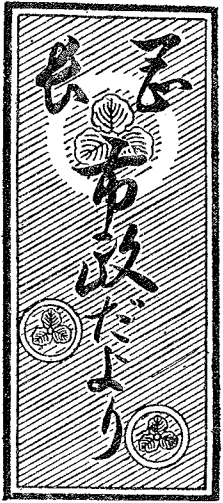
十月二十五日が納期限
県市民税
第三期分
納付書は十五日頃から配ります。

◎お知らせ
◆社会教育振興大会 期日 十月三十一日 会場 長岡公民館ホール

学校めぐり

富島小学校

教育目標
進んで
よい子



発行所 長岡市役所
新潟県長岡市大手通2 (電話 3200)

人口の動き

(10月1日現在)

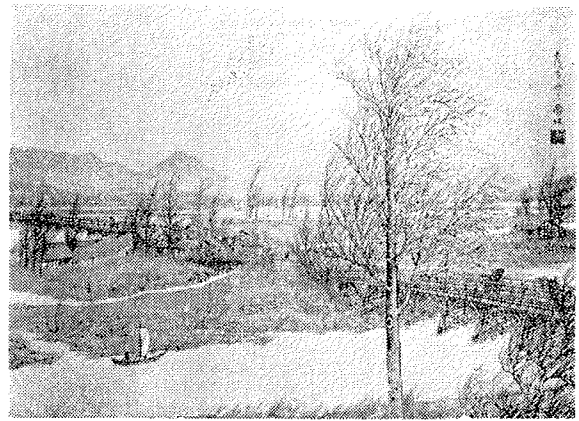
世帯数	25,347
人口	130,950
男	64,123
女	66,827
(明治39年末)	6,302
世帯数	33,702
人口	16,579
男	17,123

特集 市制施行五十周年

治 先ず教育の振興

現在に通ず合併条件

「仇守る岩のかがり影更けて、夏も身にしむ越の山朋」が榎峠の激戦を歌に詠んだ戊辰の役は、明治元年



五月から九月までの、思えば長い戦いで、長岡のすべてを灰に帰した。以来三十余年復興に注がれた努力もようやく実を結び、長岡と漠然たる名称のもとに呼ば

れていた長岡本町、長岡町、千手町、草生津村、王内村(石内、蔵王兩村合併)、新町など二町四カ村は、明治三十四年十一月合併なり、一町長管理のもとに、新しい町がつくられ

最も古い千手校にみると明治五年七月、町内有志は長恩寺を借受け寺小屋生を兼ねて教授をはじめ十一月北千手に校舎を新築して移転同七年十一月、草生津、宮原に附属分校をつくる。同九年七月二階建舎を増築同十七年七月初等科、中等科の上に高等科を設く。同二十九年新川以南を区域として組合立となる。同三十二年四月、二カ年の補修科を附設、同三十三年四月、二カ年程度の高等科を設置、三十四年四月高等科の修業年限を四カ年に延長十月新校舎を増設。同四十二年四月六教室を増設「各々の町村がもつていひん弱な校舎や施設を改善し、よい教師を得て内容を充実するに、何となく必要であり、そのままとつた大きな力教育の振興を

この合併も明治の文明開化の一つ、教育第一主義の義務教育の徹底による財政負担の加重という外からの誘因があつた。まず明治五年六月、長恩寺を仮校舎に千手校が創立され、十一月中島に分校ができた。続く六年十一月に新町、石内、蔵王三カ村の組合立で新町校が新町の長福寺を仮校舎にして開校、七年二月川崎校が、九月には貫市組合を分離して表町校が、十五年に金峰神社の拝殿を仮校舎に蔵王校。十七年七月に中島校が分校から独立二十年四月に古志郡立高等科長岡

ある古志は当時の合併の事情を回顧してこう語っている。

市政年表

五十年の主な動き

- ◎明治三十九年 四月に市制を施行、市長事務取扱に秋庭半 十二月に郵便局の電話交換事務がはじまつた。
- ◎明治四十年 四月北越製紙株式会社が資本金七十五万円創立
- ◎明治四十二年 二月県立工業学校の設立が認可になり県立村松工業学校の一部を仮用し開校した。市内有識者により四年前に征露記念長岡図書館が設立され、五月から市の教育会が経営することになった。
- ◎明治四十三年 四月玉蔵院町の長岡高等小学校の一部を借りて市立長岡商業学校が開校した。
- ◎大正二年 四月中島尋常高等小学校が開校した。
- ◎大正三年 八月信濃川の大洪水で左近の土手が切れ全市が水浸しとなった。
- ◎大正四年 三月長岡中学校(今の長岡高等学校)が火災により全焼した。十一月信越線に城岡駅(今の北長岡駅)が新設された。長岡、折尾間の折尾鉄道が開通。
- ◎大正五年 長岡鉄道西長岡寺泊間が一月に開通した。
- ◎九月に令終会が生れ久山公園化に着手した。
- ◎大正六年 市内観光院町の野本恭八郎氏は互尊文庫創建の資金寄附を市会に申して、四月にその一部を開館 五月全市挙げて長岡開府三百年祭が日夜をわかずくりひろげられた。
- ◎大正七年 米価の上昇に激した群衆が平潟神社に集りさらに全国切つての米間屋川佐宅を焼くという米騒動が八月起きた。
- ◎大正九年 五月改築工事中の飯之上小学校から出火、附近八十余戸を焼失した。第一回の国勢調査が実施され当市の人口は四万二千四十八人、サイレン塔までつけたモダンな市役所も完工した。
- ◎大正十年 十二月に四郎丸村を合併し市制は東方にも大きく伸び、石油黄金時代も去つて長岡屈指の製油所宝田会社も日本石油に合併し、その工場を開鎖した。
- ◎大正十一年 学校を中心として運動熱が高まり、この機に乗じ北越新報主催の第一回の県下少年少女オリンピック大会が開かれ長岡名物の一つとなった。
- ◎大正十三年 市商工会議所が中心となり運動を始めて十七年、多額の地元負担をなしようやく四月から官立長岡高等工業学校が開校した。また明治三十四年調査設計

創立四十周年の互尊文庫

大正五年野本互尊翁の寄附により設立された長岡市立互尊文庫は、今年創立四十周年に当り次のことを行うことになりました。

- ◆展覧会 十月十五・六両日 於・新市庁舎
- ◆記念式 十一月三日 於・互尊文庫
- ◆記念講演会 十一月三日又は十五日 於・長岡公民館ホール(予定)
- ◆記念建設 (国旗掲揚塔)

美術の秋の展覧会

市制五十周年を飾る美術展が次のように開かれま

すから、是非御覧下さい。

- ◆美術展 十月十五・十六日 市出身画家を中心とした新市庁舎完工記念・新市庁舎内
- ◆第三回造形美術総合展 十一月三・四・五日・長岡公民館他

犬の予防注射

鑑札も一しよに

狂犬病予防注射の第二回目が次の日割で行われま

す。春おやりになつた犬もこの二回目を受けて下さい、また鑑札(登録)を受けてない犬も、注射の時には登録されますから、一しよにして下さい。

施行日	注射時間	場所	場
10/10	自10:00	長岡公民館	三
"	10:00	神田小学校	三
"	10:00	黒条地区	三
"	10:00	新組地区	三
"	10:00	山本地区	三
"	10:00	山通り地区	三
"	10:00	宮内地区	三
"	10:00	深才下山地	三
"	10:00	深才支所地区	三
"	10:00	六日市地区	三
"	10:00	十日町地区	三
"	10:00	福戸地区	三
"	10:00	下川西地区	三
"	10:00	富倉地区	三
"	10:00	日越地区	三
"	10:00	王寺川地区	三
"	10:00	栖吉地区	三
"	10:00	上川西地区	三

廿年の曲折で完工

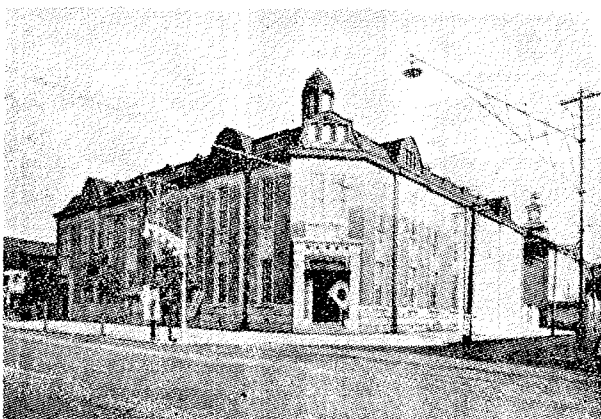
関東大震災後に上下水道

大正

大正前期……この間は、前期の治水、道路の維持事業とともに、上水道、下水道、工事に着手し、計画を立て、基礎準備を築きあげ、又同時に市の産業発展に力を注ぎ、公設市場その他数々の事業をなした振興を計った。

大正後期……この間は、市政施行以来最も活動した時代で市庁舎を竣工し、又多年断行し得なかつた道路上下水道工事を実行し幾多困難にも遭遇したが遂に当市空前の大事業を完成した。外四郎丸村を合併し、市収入の増加を計り各種事業の適正化を計り各種事業を考へ実行した。ことに市立商業学校を県立に移管する準備として同校を移転すると、官立高等工業学校誘致の運動を展開し、附地を寄附し、等々従来にみられない功績をあげた。

上下水道の敷設は、明治三十四年まだ長岡町の頃から考へられたのであった。当時最も近代的な建物であった市役所



大正前期……この間は、前期の治水、道路の維持事業とともに、上水道、下水道、工事に着手し、計画を立て、基礎準備を築きあげ、又同時に市の産業発展に力を注ぎ、公設市場その他数々の事業をなした振興を計った。

が、上水道・下水道のいづれを先にするかについて意見がまとまらず、財政の都合もあつて、二十年間も論議がつくされたのであつた。

大正十一年よりやく計画案もでき、いよいよ着手という時に関東大震災が起つたが、翌十三年四月に着工、大正十五年に完成したのである。

上水道の当時の給水戸数は一、五八三人口六、三九

全市濁流の巷

大正三年 長生橋も流れる

おだやかな大正三年八月十四日十時ころ突然「大水だ、左近の土手が切れた」と街中は大変な騒ぎとなり、たたくまに町は濁流の巷と化して右往左往の大こんらなつてしまつた。

二階や屋根で大声、まつたく手の下しようない恐ろしさであつた。三日目によろしく水はひき始め、ほとと息したが、どの井戸も水がたしになつて、のみ水がない、幸い表町辺に一つだけ完全な井戸がみつかり、ここから船で四、五日間水の配給という恐ろしい水害であつた。

川佐の米騒動

大正七年の夏一升の米が三十九銭になり米屋がぼろ利をむさぼるといふので「米値下げ市民大会」のピ

ラが町角にはられた。八月十七日の夕方平湯神社協のみやこ館前にぞくぞく人々は集つた、この急を知らぬ警察は中止命令を出したが、会場では伊藤着竜などから「中止命令が出ては、から皆んな帰れ」とアジ演説をやつていふうちに、群集の誰からもなく「川佐を焼き払え」と熱狂、暴徒と化し川佐宅を火の海としてしまつた。次に向う途中雨となつたため、米屋沢田半七、須栗宅は明日ということまで散会した。この時警察は川佐宅の裏の背中にチヨトクで丸印を付けたが本人たちは一向知らない、翌日再び集つたものの内印のついた人は検挙された、小千谷から工兵隊が一個中隊援助に来て、空に空砲をうつつたのでさしもの暴徒も漸く治まつた。

四郎丸村の合併

今、四郎丸と川崎方面は当時古志郡四郎丸村と言つていた。長岡市との合併については、十数年もの懸案であつたが大正十一年十二月一日を期して合併した。この合併は市制施行後の第一回のことであり市勢の発展が進められた。

大工場地帯の出現

蔵王町に三〇万坪

昭和前期

上越線の開通 昭和六年九月一日午前六時十分、上越線第一番列車は、市民の希望をのせて長岡駅を出発した。表日本と裏日本を結ぶ最短距離の開通は、長岡の経済界に一大変化を与えることになつた。

商業競争の激化 東京方面からの強力な経済的進出は、卸商都長岡の商域地図の塗りかえとなつたが、その実勢力はむしろ伸張をきたし、長岡人の積極性は、裏日本で初めて博覧会「上越線全通記念博覧会」を開催してその意気を示すにいたつたのである。

工業重点の産業政策 既に商都として名のある長岡は、昭和六年の満州事



写真は上越線全通博のポスター

昭和十三年五月、大阪機械製作所蔵王工場増設(黒糸工場は昭和十八年設立)

昭和十五年三月、有限会社大原鉄工所設立

昭和十五年九月、新潟鉄工

商業に次ぐ農家の預金高

市中銀行の貸出金は二億円

上越線開通直前の昭和六年市中銀行は普通銀行二、貯蓄銀行一、信用組合六、無尽会社一でこれらの金融機関はひとり長岡のみならず中越七郡十二万戸七十万の金融を独占し、中央その他の大銀行の支店はわずかな不動産銀行の支店と新潟の相互無尽の出張所のみならず市民の貯蓄心の旺盛と自治意識の向上とまつて運転資金額は県内で二、三位に

あり、長岡信用組合は一六〇万であつた。一方普通銀行の預金高は五年末で二、九一八万円、長岡貯蓄銀行一行の預金高は六四〇万円、預金者の職業別は商業、農業一八八万円、工業九六万円その他となり、五年末の貸付金残高は一四九万円市中普通銀行の年間貸出金は二億四百万円、当時の物価は白米一升三十四銭、醤油一升六〇銭であつた。

区間	高崎―宮内	一六五キロ
線		
上越線		
工事期間	大正七年十二月から昭和六年九月まで	
延人員	四八、二六七千人	
経費	三五〇万人	

主催	長岡市
会期	昭和六年 八月二十一日から九月三十日まで
会場	上中島町二万五千坪 第二会場寺泊町
決算	支取 三十一万円 出入 二十六万円
入場者	六二六、九八三人

した上下水道は、財政の関係から上水道、下水道いづれが先か二十年間論議がまとまらなかつたが世論は同時敷設を支持各種の認可を得て四月着工した。

◎大正十五年 匿名で公会堂を寄贈せんとした篤志家、実は日本の旅館王といわれた大野甚松氏が二十三万円の巨費で自から設計監督し七月完工市に引渡した。

◎昭和二年 二月火災のため商業学校が焼失、市で初めての水泳プールが悠久山に十一月完工した。

◎昭和三年 十一月国会の普通選挙をはじめ行われた。昭和六年 明治十七年南魚沼郡の岡村貢氏により上越線敷設が唱いられてから四十年三千六百六十万円余の予算が国会を通過し、大正七年に起工して十二年目この年九月に開通した。これを記念し市では中島町の一角を会場に盛大な博覧会を八月から開いた。また市として初の道路舗装が長岡駅前広場に行われた。

◎昭和九年 最高積雪量二米七〇種、百三十日間にも及ぶ積雪で近年稀な大雪であつた。

◎昭和十一年 今を距る約三百年前の慶安年間、旧新組村の庄屋久右衛門が初めて開いた用水路福島江は、蜿蜒五里に亘る長水路で大正の末年に大工事が一応完成したがさらに充分な改修を行うため十月農業水利改良事務所が開設された。

◎昭和十二年 精密機械の最後の総仕上げを雪国人のネバリ強さに解決を求め、津上製作所が資本金二百萬円で三月設立された。渡船により東西の交通を続けた信濃川に、明治九年四月はじめて本流二百三十間支流四十八間という当時としては空前の大橋長生橋が完工、その後の大洪水で幾度か掛替えられたが鉄橋に掛替の議が果かに発案されて三年目に総工費七十八万円工事に着工三年余の期間を費しこの年十月完成した。

◎昭和十三年 工業立市の市是に五月倉敷機械の前身日本重工株式会社が資本金百万円で設立され、また大阪機械製作所蔵王工場の増設が行われた。

◎昭和十五年 三月市役所は火災のため焼失、有限会社大原鉄工所が設立された。七月砂糖が切符制九月小麦が切符制となり米も統制をうけ、隣組ができ、金属類の献納運動が始まつた。

◎昭和十六年 四月今朝白町にあつた農事試験場が長倉町に移転した。

◎昭和十七年 十二月長岡銀行と六十九銀行が合併した。今の北越銀行の前身で資本金は一千百万円余であつた。

◎昭和十八年 四月市の出身である山本元帥が南方海上で戦死、また猿橋川沿岸及び山北用水農業水利の改良事務所が開設された。

務所が開設された。

◎昭和二十年 八月空襲で市街地の九割が焼失し、鶴田市長も戦死した、九月長岡復興建設部が設置され、十月平和産業の第一陣として津上製作所がミシンの製作を開始。

◎昭和二十一年 四月から六・三制の小学校が始つた。

◎昭和二十二年 四月公選による初の市長に松田弘俊氏が当選し、衆、参両議員、知事、県議などの公選が行われた。五月には市立南中学校、北中学校が開校し、八月に初の復興祭が盛大に行われた。十月天皇陛下が北陸を御巡幸、長岡市内においでになる。

◎昭和二十三年 三月法律の改正で自治体警察が誕生した。一日深才村の一部(大島、下山地区)を合併、また旧制中等学校が高等学校として発足した、五月山通村を合併、第四銀行の出張所も表町二に開店、十二月上越線高崎―長岡間の電化が完成、また栃尾鉄道も全線の電化を完成した。

◎昭和二十四年 失業対策事業が七月から本格的にはじまつた。

◎昭和二十五年 四月消防署が渡里町に開庁、七月県と共催の新潟県産業博覧会が開かれ、十二月栖吉村を合併。

◎昭和二十六年 一月富貴村を合併、七月神田小学校からわかれた新町小学校の校舎完工、八月北越製紙株式会社からの寄附を基に悠久山に建築中の長岡科学博物館が完成し開館、十一月駅前建てられた平和像の除幕式が行われた、十二月長岡鉄道西長岡―寺泊間の電化完成。

◎昭和二十七年 一月呉羽紡績長岡工場が操業をはじめ、また津上製作所は会社更生法の適用をうけた、三月中島小学校の校舎が完工、十一月新しく市教育委員会が発足した。

◎昭和二十八年 四月から中島小学校内に教育放送局が開局、九月に新大教育学部長岡分校が学校町の新校舎で一部授業を開始。

◎昭和二十九年 二月上川西村を合併、蔵王町に県立精神病院の建設はじまる、三月宮内町を合併、四月新大長岡分校の旧校舎に東北中学校が開校、五月深才村を合併、十一月六日市村ほか八カ村を合併、十二月中島浄水場の拡張工事が完工。

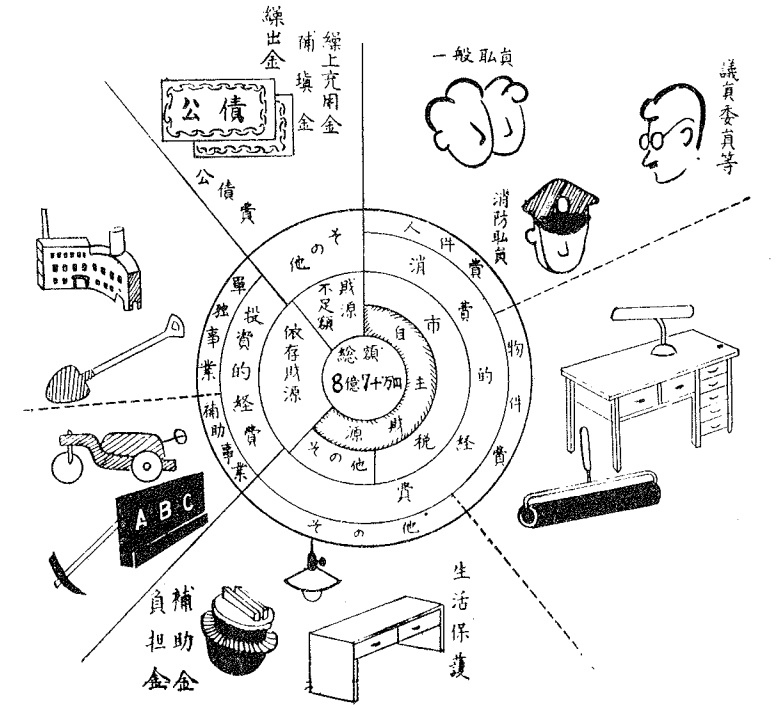
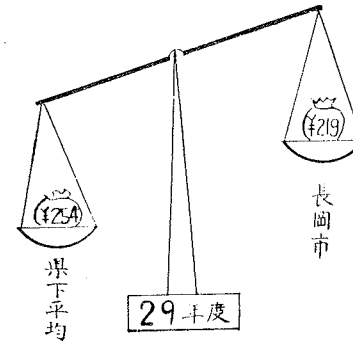
◎昭和三十年 四月長岡駅前地下道が完工、十月柳原町へ市役所新庁舎が完工、市制五十周年の式典が行われた。

S.30.10.10
(4)

昭和29年度財政の内訳

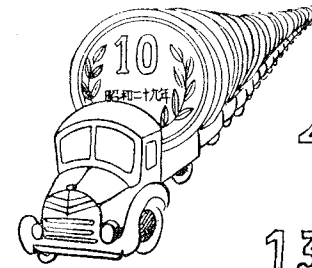
市民税の比較

所得1万円当所得割

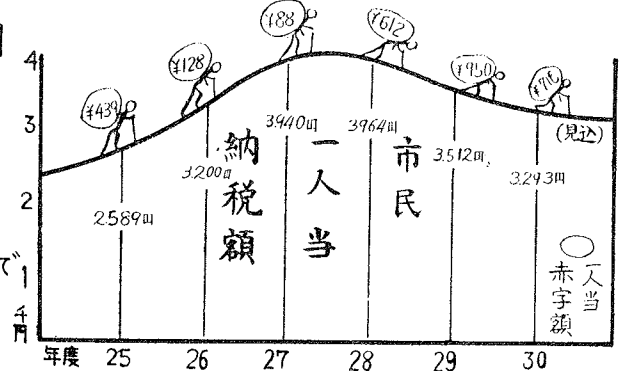


29年度

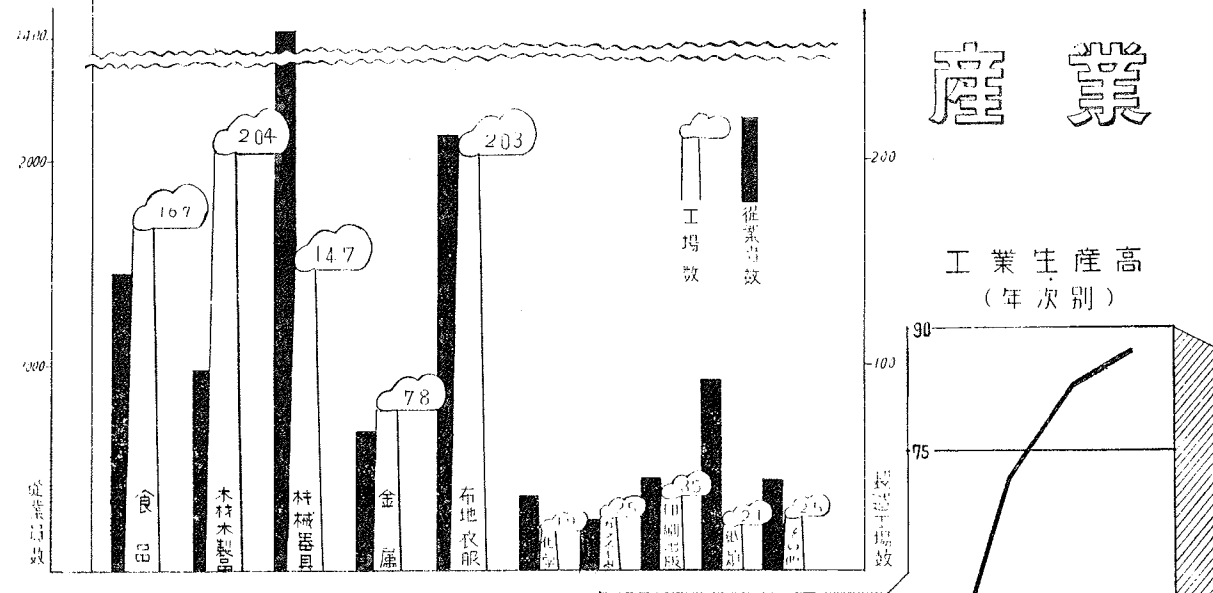
赤字額 1億2千3百万円



納税額 一人当 3,200円

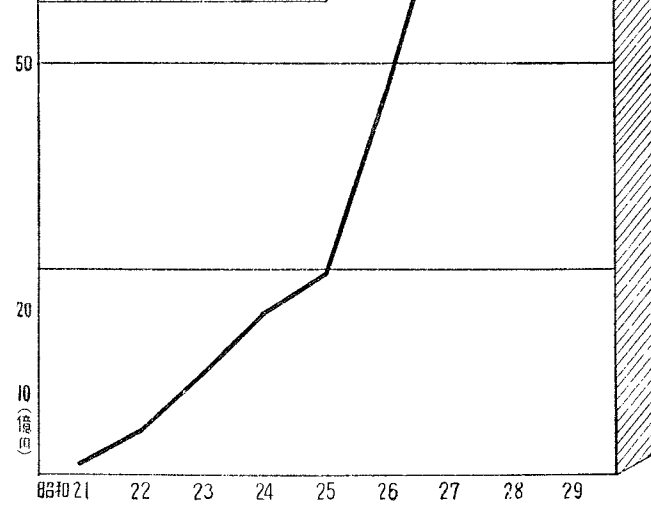
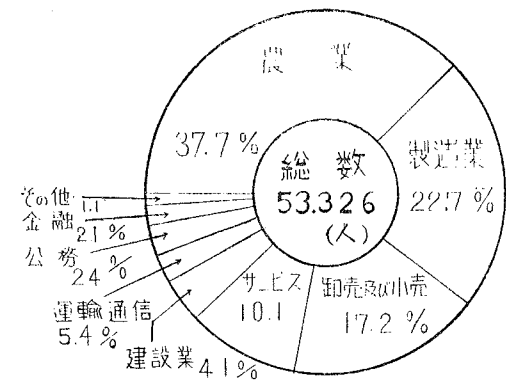


製造工場と従業者

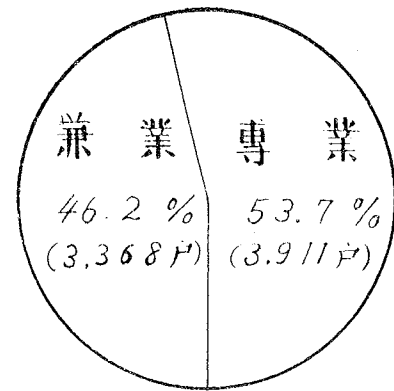


産業

産業別従業員比較

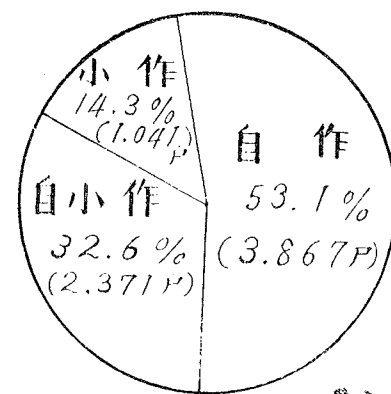


農業経営



農家総数

7,279戸



S.30.10.10
(5)

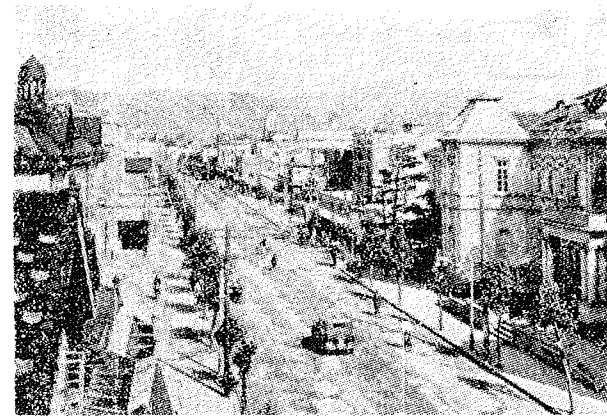
年度	市税	市債	公債	公債費	生活保護	生活扶助	生活補助	生活補助金	その他	赤字額
25	市税	市債	公債	公債費	生活保護	生活扶助	生活補助	生活補助金	その他	
26	市税	市債	公債	公債費	生活保護	生活扶助	生活補助	生活補助金	その他	
27	市税	市債	公債	公債費	生活保護	生活扶助	生活補助	生活補助金	その他	
28	市税	市債	公債	公債費	生活保護	生活扶助	生活補助	生活補助金	その他	
29	市税	市債	公債	公債費	生活保護	生活扶助	生活補助	生活補助金	その他	
30	市税	市債	公債	公債費	生活保護	生活扶助	生活補助	生活補助金	その他	赤字額

財政規模の
うつりかわり

億円 1 2 3 4 5 6 7 8 9

市制実施以来の市民生活

五年新保、坪井らにより資本金一万五千円で大平石油会社が出来たのは、はじめに古志、扶桑、明榮、日之本などの石油会社が相ついで、大正の中期まで長岡における石油の元締となつた安岡石油も二十六年にできた。



昭和六年頃、大手通りから長岡駅方面を望む

二十円の株が四百円

全国稀な女相場師活躍

明治二十六年突如東山の加津保沢に大噴油があり、一瞬にして石油熱で一世を風びした。

「東山加津保沢の石油三号坑井爆発し、坑夫一名井底に埋没した、これは全く前代未聞の惨事であり日本の鉱業界の耳目をせしむるに充分である。」と新聞は当時の模様を報道した。

スポーツの隆盛

鐘や太鼓の応援合戦

大正十一年第一回県下少年少女オリンピック大会が北越新報社の主催で開催された。また市内小学校の対抗野球戦を越新報社が主催するなど、体育とくに競

三時間の短縮

上越線全通博のころ

文明の偉大なる力は遂に自然を征服してあの大清水トンネルは見事に完成したのである。それによつて長岡に空前の大博覧会が開催されたのである。私もそれを眼にした。国防館では戦争といえど一瞥討であつたが、現今、否将軍の戦は空中、地上、海上に於て行われ毒ガス、大砲等総べて科学であると思つた。あ

間に合わぬ蒸気ポンプ

大正四年長中の火災

「出動」となる消防団が多勢で前の綱を引くと、車には一人の火夫が布に油をかき、火をつけて石炭に火をつけてすのこに一生懸命、現場にうつく頃ようやく蒸気になるというものである。火事現場では「蒸気ポンプがき

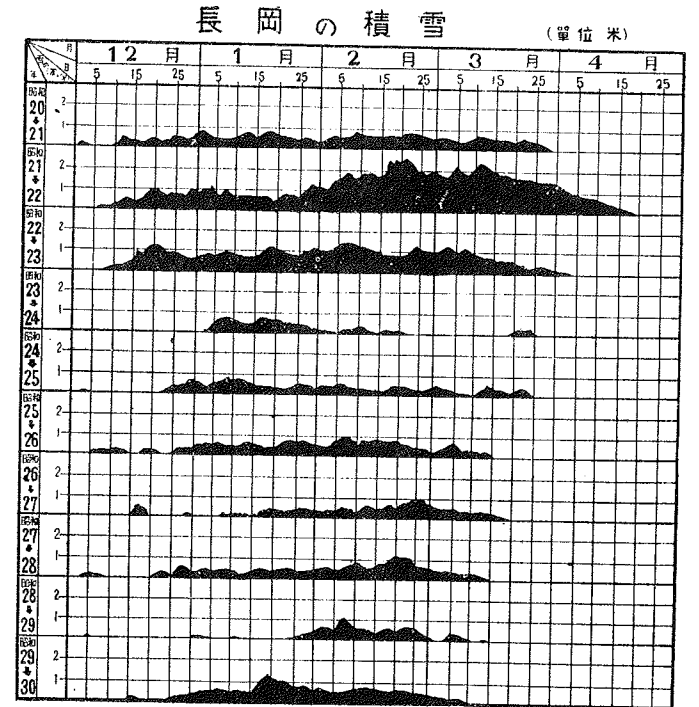
開府三百年祭

全市あげ十日間

「長岡の市史を案ずるに幾多の変遷をへたりといえども元和四年牧野忠成公が上野大湖より移住のときをまつて新興の紀元とすべきかこれ今日の祝典ある所以なり」という祝典の祝辞には「長岡の市史を案ずるに幾多の変遷をへたりといえども元和四年牧野忠成公が上野大湖より移住のときをまつて新興の紀元とすべきかこれ今日の祝典ある所以なり」という祝典の祝辞には

特集のことば

市制施行五十周年のお祝が十月十五日行われ、また市政だより発行一周年の意味も兼ねて、この特集号は明治時代を振り返るもので、外部では特三次の方から助言と御指導をいただき、紙に御祈り、既にお礼を申し上げます。(広原 隆) 新保忠義氏 角田青次郎氏 尾野豊平氏 白井敬造氏 五十嵐高太郎氏



市民の生活 昭和29年末現在

出生 1日: 37人	児童生徒 一・五・高 二・人	結婚 1日: 2.6組	死亡 1日: 1.5人
自転車 6.4人に1台	火事 7日に1件	交通事故 5日に1件	
自動車 118人に1台	電話 6去帯に1台	医師 975人に1人	ラジオ 一四去帯に1台

面積 201.32km ²	距離 東 18.1Km 西 22.9Km 南 北
人口 男 64,123人 女 66,827人 計 130,950人 昭和30.10.1	人口密度 1km ² 当り 650.45人
去帯数 25.347 昭和30.10.1	有権者数 男 35,053人 女 39,064人 計 74,117人 昭和30.5.15

幼稚園	国立 1校 私立 2校	男 119 女 89 計 208
小学校	市立 38校 国立 1校	男 9,125 女 8,815 計 17,940
中学校	市立 16校 国立 1校 私立 1校	男 4,431 女 4,305 計 8,736
高等学校	県立 (全日5校 定時5校 全日2校 定時1校) 私立 1校	男 3,520 女 2,528 計 6,048
大学	工学部 1校 教育学部 1校	男 747 女 216 計 963
特殊学校	県立 1校	男 137 女 127 計 264

放送局 周波数 65.51メガサイクル 出力 500W MC	受信機 56 放送時間(年間) 285時間
図書館 図書 17 分館 43	公民館 1
福祉会館 1	集金数 月40回
博物館 3	長岡科学博物館 観覧者 40,000人(年間)
考古資料 60,000点	鳥獣資料 3,300点
昆虫資料 400箱	植物資料 7,000点
如星博物館 名士の資料 数千点 観覧者 5,000人(年間)	横倉科学博物館 科学資料、雪上車、民俗資料 など数千点 観覧者 10,000人(年間)

S. 30. 10. 10